

屋外展示場のラベンダー園では、およそ2万株のラベンダーが見ごろを迎えています。鮮やかな色と香り



石神の丘美術館通信《いしび》

ishibi

2008.7.1 Vol.69

はこの時期だけのお楽しみ。週末には野点(のだて)やラベンダーをつかった創作体験教室も開かれ、多くのお客様でにぎわっています。今年は、新しく「つみとり体験」(有料)のコーナーも整備しました。つみとったラベンダーはご自宅でドライフラワーやポプリ作りに利用してみたいはいかがでしょうか。ラベンダーのシーズンが終ると、次は岩手町の特産品のひとつ、ブルーベリーが実る季節です。屋外展示場のブルーベリー園では、採りたてのブルーベリーを味見することができます。フレッシュなブルーベリーはジャムなどの加工品とはひとあじ違った美味しさがあります。ぜひ試してみてくださいね。(観光農園ではありませんので持ち帰りをご遠慮いただいております ご了承ください)

企画展示室では、盛岡市在住の9歳の少年・高橋卓也くんの書を紹介する展覧会が開催中です。テレビなどでご存知の方も多いと思いますが、まるで描くように書いた独特の書作品およそ40点を紹介しています。ご好評につき、会期を7月27日(日)まで延長いたします。ぜひこの機会にご覧ください。当館は7月2日に開館15周年を迎えました。このことを記念して、高橋卓也展(～7月27日まで)は特別料金でご覧いただけます。【企画展示室と屋外展示場(ラベンダー園含む) 観覧:一般100円/大・高生50円/中学生以下無料】

9歳の書家 高橋 卓也展

会期:【現在開催中】～7月27日(日)まで ※好評につき会期延長!
開館時間:午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
【開館15周年特別入館料金】
一般100円/大・高生50円/中学生以下無料(屋外観覧料を含みます)

アートサイト

丹藤溪流

石神の丘美術館の芸術監督になって以来、勤務の日以外も多く来るようになった。初めて岩手町に来て感動したのは、手付かずの自然が多く残っていることだった。

特に丹藤溪流は、眺めが素晴らしく、秘境とっていい雰囲気がある。以来、ときどき溪流沿いを歩き回り、写真を撮り続けてきたのだが、体力に限界を感じ、ことしだけで打ち止めとすることにした。

撮影した部分は、ごく一部のエリアにしか過ぎないが、それでも六年間通い続けさせた魅力はおおいに吹聴したいと思う。

しかしあまり有名になって、多くのハイカーが入り込み、散策路が荒れるのも困る。今の状態が一番いいのかもしれない。

写真は溪流そのものと、溪流沿いに生きる植物や川の生物などで、すべてを撮ったわけではないが、気分としては、もういいかなというところだ。

昨年の五月から六月にかけては、町内全域を走り回ったが、驚いたのは、藤の巨木の多さであつた。町のどこに行っても藤が咲いている。これほど藤の多い町を私は知らない。まさに「藤の里」だと思つた。

ほかに巨木もあちこちに見られる。中世の城跡もある。滝もあれば川真珠貝もいる。石神の丘美術館もある。ほかにあげればいろいろある。観光資源には恵まれているといえる。それ

を上手に活かせるかどうかだろ

う。観光資源は人工的に作り出すことができる、私には考えにくい。金をかければそれなりにできるが、金をかけなくてもアイデアで観光資源を作ることには可能だと考える。あとはセンスの問題で、センスが良くなければ、どんなに金をかけても、良い観光資源は作れないだろうということだ。

中途半端ではなく徹底することもある。中途半端は浪費に終わるだろう。規模の大小ではないのだ。ハードではなくソフトをどうするかで、資源が生き残るか死ぬかが決まるだろうと思う。もちろんハードも大切ではある、ハードもソフトも情熱がないと活性化しないだろう。

(芸術監督・六岡 康光)

好評につき会期が7月27日(日)まで延長になりました

9歳の書家 高橋 卓也展

6月21日(土) - 7月27日(日)



6月21日(土)から始まった『9歳の書家・高橋卓也展』では、盛岡市在住の少年書家・高橋卓也くんの作品およそ40点を紹介しています。会期初日から会場には多くのお客様が来場し熱心に作品をご覧になっています。もりもりとした筋肉を表した《腕》、傷だらけで遡上する姿を表した《鮭》など、まるで絵を描くかのような卓也くんの書は高く評価され、本の題字やロゴデザインを手掛けるなど9歳にして幅広く活躍中です。ご好評につき、会期を7月27日(日)まで延長します。ぜひこの機会にご覧下さい。

【次回の企画展】

会期:2008.8.2[土]~9.23[火・祝]

いわたの
現代美術と
出会う、夏。

ISHIGAMI
ART
WALK part2
石神の丘
アートウォーク 2008

次回の企画展では、石神の丘美術館の企画展示室と屋外展示場を利用して岩手ゆかりの若手作家6名の作品を紹介いたします。特に、屋外展示場には、この場所のために制作された作品が展示されます。タノシイ、キレイ、フシギ…「いわたの現代美術と出会う、夏。」を過ごしませんか。

【出品作家】

板垣 崇志
Itagaki Takashi
宇田 義久
Uda Yoshihisa
小畑 裕子
Obata Hiroko
佐藤 一枝
Sato Kazue
濱 千尋
Hama Chihiro
広野 じん
Hirono Jin



石神の丘美術館・屋外展示場には「ラベンダー園」があり、6月下旬から7月上旬に見ごろを迎えます。今年は、6月27日ごろから花が咲き始めました。この期限定で、館内ではラベンダーグッズの販売も行っています。町内ドライフラワーサークルの皆さんが作った壁掛けなどのほか、ハーブ専門店から仕入れたラベンダーオイルやラベンダーティーもとてもよい香りでオススメです。



美術館ホールでは、数ある町内の美しい景観の中でも特におすすめしたい「丹藤溪流(たんどうけいりゅう)」を当館芸術監督・六岡康光が撮影した写真を通じて紹介します。四季折々の草花が咲く豊かな自然と、カワシンジュガイが棲息するほど澄んだ水が流れる丹藤溪流の魅力をお楽しみください。

平成20年度 工房体験講座

ドライフラワー教室

第2回「トピアリー」参加者募集!

日時:7月20日(日)
10:00~12:00

場所:石神の丘美術館 工房棟
材料代:1,500円

定員:15名

(予約優先・先着順)

指導:花ちゃ花ちゃ工房

(町内ドライフラワーサークル)

申し込み・問い合わせ:

石神の丘美術館

TEL/(0195)62-1453



美術館隣接 道の駅/レストラン「石神の丘」情報

このコーナーのお問合せ・ご予約は 道の駅「石神の丘」 TEL0195-61-1600まで

7月24日(水) 新発売
道の駅「石神の丘」オリジナル
ブルーベリーのリキュール



石神の恋ごころ

石神の丘美術館が「恋人の聖地」に認定されたことにちなんで名付けられました。 5,000本限定/1,050円

道の駅「石神の丘」開業6周年 ブルーベリーまつり

2008年7月26日(土)、27日(日)

道の駅「石神の丘」は、おかげさまで開業6周年を迎えます。たくさんのお得!美味しい!をご用意してお待ちしております。
★ブルーベリーツアー参加者募集★上記2日間ブルーベリー食べ放題付のツアーを開催します。詳しくは問い合わせください。

レストラン石神の丘は

7月26日(土)

リニューアルオープンします

増改築工事をおこなっているレストラン「石神の丘」は18日プレオープン予定です。その後、26日にリニューアルオープンいたします。

7月4日~14日の間は、「第2駐車場隣接の美術館工房棟」にて特別営業(10:30~16:00 ラストオーダー)いたしますのでぜひ、ご利用ください。

特別営業期間はブルーベリービーフカレー、やまと豚ハヤシライス、冷しとろろそば、やまと豚坦々うどん、ソフトクリーム、ジュース類など特別メニューをご用意しております。